

平成28年度岬町地域公共交通会議（第2回） 議事概要

開催日時 平成28年11月2日（水）14時～15時40分
開催場所 岬町役場3階第二委員会室
出席者 15名及び代理出席2名 欠席3名
傍聴者 2名

議事概要

（事務局）

定刻になりましたので、ただ今から平成28年度第2回岬町地域公共交通会議を開催させていただきます。

まず、配布させていただいた資料の確認をお願いします。

資料－1 岬町地域公共交通会議委員名簿（平成28年9月16日現在）

資料－2 バス運行状況について

資料－3 公共交通に関するアンケート調査結果

資料－4 バス利用者意識調査結果

資料－5 バス事業の中間評価の実施について

資料－6 コミュニティバス実証運行内容の見直しについて

資料－7 平成28年度第1回岬町地域公共交通会議議事概要の9種類になっています。不足等ございませんか？

（「なし」の声）

それでは、会長の方で進行をお願いします。

（会長）

それでは、平成28年度の第2回目の公共交通会議を開催いたします。お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。次第に入る前に今日の出席状況について事務局から報告してください。

（事務局）

本日の出席人数は17名、欠席3名、大阪運輸支局村上委員の代理として、運輸部門矢野専門官、泉南警察署佐上交通課長の代理として後藤様に出席いただいています。

（会長）

ただいま報告のとおり、岬町地域交通会議の設置要項第5条の規定により、過半数が出席されていますので、本日の会議は成立いたしております。

会議を始める前に、傍聴の申し出はありますか。

（事務局）

2名の傍聴の申し出がございます。傍聴の許可についてお諮りいただきたいと思っております。

（会長）

2名の傍聴の申し入れがありましたので、許可してよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

(会長)

傍聴を許可したいと思います。

(傍聴者入室)

(会長)

それでは、傍聴の方に入っていたので、あらためて皆様こんにちは。第2回岬町地域公共交通会議を始めさせていただきたいと思います。本日の案件はその他も含め6件です。それでは、まず案件1について事務局から説明よろしくをお願いします。

(事務局) 資料1 委員の異動について報告

案件に入る前に、本交通会議の委員に異動がありましたのでご報告をさせていただきます。お手元の資料1、委員名簿をご覧ください。委員のうち、交通事業者として選任の、有田交通(株)岬営業所の松木委員につきましては、本年7月末をもって退職されました。後任に、同じく有田交通(株)観光部の、新谷課長を選任いたしております。

また、泉南警察署から選任の井上交通課長には、9月16日付け人事異動に伴い警察署が変わられましたので、後任の佐上交通課長を選任させていただいております。

なお、後任の委員の任期は、前任者の残任期間となりますので、平成29年7月16日までとなります。みなさま、どうぞよろしくお願いたします。

案件(1) バス実証運行の状況について、資料2により説明。

(会長)

ただいまの説明について、ご質問などはありませんか。

(「なし」の声あり)

ないようですので、次に案件(2)のアンケート調査の結果について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

案件(2)のアンケート調査の結果についてですが、①公共交通に関する住民アンケート調査結果と、②バス利用者意識調査結果の2種類について、それぞれ説明させていただきます。

資料-3 公共交通に関する住民アンケート調査結果

資料-4 コミュニティバス利用者意識調査結果

について説明。

(委員)

運行ダイヤについての不満はありましたか？

(事務局)

利用したいときにバスに乗車できない。待ち時間が長いなどの苦情をいただいております。

(委員)

タウンミーティングでのバスに対する意見等はどのようなものがあるのですか？

(事務局)

支線から基本路線に、また基本路線から支線への乗り継ぎ時間に関する意見や、バスを通勤、買い物といった用途別に分けてはどうか、また、電車との乗継に関することなどの意見が多かった。

(委員)

多奈川線が駅に着いたら、出ていくという話を聞く。また、深日の人は積み残しがあると言っていますが？

(事務局)

基本路線については、朝の通勤通学として利用されていることから、みさき公園駅から難波行のサザンに、午後では和歌山市行きサザン・急行にできるだけ連絡するダイヤとしています。多奈川線を含めて電車の発車・到着時間すべてに連絡することはむつかしく、できるだけ考慮したダイヤにしていますのでご理解をいただきたいと思えます。

積み残しについては、朝の通勤通学時間帯に雨天の際は後続を付け積み残しが出ないように、また運行当初ではコンピューターでの積み残しが出ていた時間帯のバスを、マイクロバスに変更するなど、現在では解消している状況です。

(委員)

乗継支線の宇土墓古墳で利用している人がいるが、岬クリニックに行くのに淡輪駅でしか降りることができないと言っている。途中の里海公園西口で降りることはできないのか？

(事務局)

乗継支線は現在無料で運行しており、路線は宇土墓バス停から淡輪駅まで運行しています。その間に里海公園西口のバス停がありますが、基本路線のバス停と重なっています。有料路線と無料路線の関係から、現在は里海公園西口には支線は停車していません。委員ご指摘の件については、住民からも要望をいただいております。支線の有料運行に移行の際は停車することとしており、ルートも変更の必要があると考えています。

(会長)

短時間で集計されたので時間がなかったとは思いますが、クロス集計や地区ごとに分ける等した方がみえてくるものがあると思えます。

(事務局)

クロス集計まではできませんでしたが、単純集計をしグラフ化したものを提出させていただきました。クロス集計も考えておりますので、時間をいただきたいと思います。

(委員)

資料3と資料4で、買い物、通勤での分析の違いは？

(事務局)

資料4は実際にバスに乗られた方のアンケート結果であり、資料3は全世帯に配布したアンケート結果ですので、サンプル特性の差が出ています。

(委員)

これまでの実証運行の中で、特に通勤時間帯の朝夕は自家用車も多く、交通渋滞が発生している。そのあたりの遅れや、早く発車してしまう等の現状はありますか。

(事務局)

始発が6時15分なのですが、望海坂から小島行きの7時30分頃から国道26号線が渋滞してまいります。逆に小島からみさき公園行きも同じ時間帯も渋滞が発生し

て、朝の9時頃までは、ダイヤが遅れています。時間より早く出ることにはございません。8時30分と9時30分のみさき公園から出るバスが、みさき公園に着くバスと、みさき公園から出るバスがあります。ここで20分から30分の時間の調整が出来るように時間をずらしているのです、10時と11時台のバスは時間どおりに戻っています。現在第二阪和国道の建設を行っておりますので、開通すれば渋滞も解消するのではないのでしょうか。

(委員)

みさき公園駅乗り継ぎにおいて顧客満足度のお話をされていますが、赤バスの限られたダイヤの中で南海線・和歌山行、難波行、多奈川行のすべての乗り継ぎを満足させるようなバスダイヤは組めないと思います。朝、夕方・晩は通勤・通学客に便利のように、昼は買い物客が便利になるようになど時間帯によりどの顧客に満足してもらえるかのダイヤにすべきだと思います。我々も地方へ行くとJRの駅で30分ぐらい待たされるのは普通である。通勤・通学を除く利用者がゆとりをもつてよいのではないのでしょうか。

(事務局)

最初にダイヤを作成する時に、朝は出来るだけサザンに、帰りもサザンや急行に合わせています。おっしゃるとおり、全ての便に合わせるのには難しいと思います。その中でも、出来るだけ便利に作ったつもりですが、これからも乗継についての時間帯を考慮して便利になるように作りたいと思います。

(会長)

他にございませんか？

私からひとつ、気がついたことがあります。

住民アンケートの3ページの質問1や、5ページの質問4、8ページの質問9、利用者意識調査のほうでも、5ページの質問5の複数回答の集計の仕方が間違っているのではないですか？回答者の数を母数にしななければならないのではないのでしょうか？例えば、資料-3の質問4では、 $1647-436=1211$ になるので、本来はこの数字が母数になるのでは？複数回答の場合は円グラフにならないので、横棒グラフか縦棒グラフになると思います。結論は変わらないと思いますが修正していただいた方がいいと思います。

あと、住民アンケートの回収率が10%台なので、今後は30%から40%に高める方法は何かございませんか。

(事務局)

昨年8月7日から8月25日まで、2000世帯を抽出したアンケートでは760の回答があり、世帯ベースでは38%ありました。世帯人員では1世帯3枚のアンケートを入れて人員ベースでは34.1%の回収率でした。今回は全世帯に配布したので30%はあるかと思っておりましたが、我々も予想外のところです。

バスのアンケートは毎年行おうと思っておりますが、住民さんにしてみれば、またバスのアンケートか！という気持ちもあったのかもしれませんが、もう少し事前にアンケートをしますと、PRが必要かなと思っております。

(会長)

他に質問ありますか。ないようでしたら、この結果がバスの見直しに繋がってくる

のではないかと？クロス集計などの新たな分析に繋がっていくと思います。結果につきましてはここでご確認していただけたと思います。

次に案件の3番 バス事業の中間評価の実施について説明よろしくをお願いします。

(事務局)

案件(3) バス事業の中間評価の実施について、資料5により説明。

(会長)

ただ今の事務局からの説明でご質問などございませんでしょうか？

評価指標につきまして量的な評価指標と質的な評価指標ですので利用者数と収支率が量の評価指数でしょうか？満足度と利便性が質の方。この4項目で評価することですが結論的には満足度は一部達成、他は未達成や見込み。見直しをしっかりとっていないといけないと言う事です。いかがでしょうか？

(委員)

評価の位置づけについて一部確認なのですが、目標値というのは前回の会議では平成32年に達成すべき目標値でその為に毎年度末に評価をするけれど、今回は実証運行中なので途中ですが評価を行ったという位置づけでよろしいですか。

(事務局)

表題にもあるとおり中間評価ですので6ヶ月の実績値をもとに行ったものです。年度ごとに行いますが今回は中間評価と言う位置づけでございます。

(会長)

他にございませんか。

(「なし」の声あり)

(会長)

ないようですのでこれで中間評価のご確認をいただいたと言う事で、次の案件4に移らせていただきます。案件4バス実証運行内容の見直しについて説明よろしくをお願いします。

(事務局)

案件(4) バス実証運行内容の見直しについて、資料6により説明

(会長)

それでは、資料説明案件4バス実証運行内容の見直しについてのご質問ありますか。

(委員)

収支率の改善を図るということで、広告をとるということでございますが、これには条例が、また大阪府の許可を得なければいけないと思いますが、広告を出す期間や大きさによる料金違いなど、どう検討していますか。お隣の和歌山市では隅から隅までバスに広告が貼られています、そういうのを参考にして頂ければいいのではないかと思います。

(事務局)

バスへの広告については要綱を作成しております。その要綱に基づいて広告の大きさ、期間、料金などを決めていきたいと思っております。和歌山バス、私鉄バスを参考に町としての企画をホームページや広報でお知らせして募集したいと思っております。

(委員)

それともう1点、今は実証運行中でございますので、臨時外の収入で嬉しいことで

はございますが、いつごろから実施するのか。

(事務局)

広告につきましては、スケジュールが予定より遅れておりました、この実証期間中に広告を出していただこうと思っております。本格運行を待たずに現在走っているバスに広告を出そうと思っております。

(会長)

広告関係の前向きなご意見をいただきました。他いかがでしょうか

(委員)

国道事務所ですが、来年第二阪和国道が全線開通になりますが、そうなれば岬町の交通の流れが変わるかな？と思っております。これを実証運行内容にどう盛り込んでいくのか、何かの調査をしてということになるのでしょうか。

(事務局)

現在工事中で、来年4月と聞いていますが、一番大きな影響が渋滞の緩和ではないかと思えます。バスのダイヤに一番大きく影響してくるので、ダイヤの間隔が今はバス停からバス停まで1分から2分間隔ですが、渋滞でうまくいっていないのが緩和されるのではないのでしょうか。今ではまだどれぐらいの影響がでるのかわかりませんが、いま一番大きな影響がバスのダイヤと運行ではないかと思えます。第二阪和国道の開通に合わせて、淡輪ランプに道の駅みさきを建設中ですが、今後のスケジュールで申し上げようと思っていたのですが、道の駅にコミュニティバスを乗り入れる計画もございますので、ルートが変わるということもございまして、第二阪和国道の開通で変わるのは、道の駅とルートの変更、ダイヤでございます。

(会長)

ほかに質問ございませんか

(委員)

収支率の改善を図るということですが、広告収入も大事かと思えますが、まずは利用していただく人を増やすという手はないのかと思うところでございまして、いかに利用して頂くかが大事なところではあります。他の市町村では利用促進を図っていますが、岬町ではアンケートの回収率が悪い、バスの認知度が大事だと思います。皆さん知らないがゆえに乗らない、知ってもらう手立てを考えるのも手かなと思います。他のところの会議では町のイベントの開始や終了時間にバスの時間が合っていないので利用できないという意見がありました。その辺の意見も参考にして利用促進を図っていただきたいと思えます。

(事務局)

ピアッツァ5のプールで水中ウォーキング等ができますが、開始時間にバスの時間が合わないという意見があり、施設にバスに合わせてもらう措置を取っています。ダイヤ改正の時はそこも考慮したいと考えています。9月に毎年行っている健康まつりも開始時間をバスに合わせて行いました。利用促進については毎回交通会議ニュースを発行しなければならないのですが、前回できていないので、今回はバスの利用についても記入し、各世帯にPRを兼ねたいと思えます。

(会長)

他に意見ございますか。

(委員)

乗継支線のことです。淡輪から飯森山登山口の経由なのですが、11月の7日からダイヤ改正がされましたが、里海公園西口停留所を新たに付けるということですね。里海公園西口から別所の台団地を通過して畑の方へ抜ける道と、帰ってきて宇土墓古墳を通過して里海公園西口に着くのと両方あるわけですね。あそこはクリニックがある関係で。

(事務局)

今回改正したのはみさき公園駅ルートと淡輪駅ルートです。乗り継ぎの待ち時間が長いということで取り急ぎ改定させていただきました。里海公園西口に停めるのは実証運行期間中には行いたいと思います。遅くとも来年4月には止めたいと思います。今回の改正ではそこまでできませんでした。停めるとなると淡輪駅から別所へ向かう左側です。帰りは宇土墓を通過して淡輪駅へ向かう間に一つ入るということで、バス停の変更はなく、停めるか停めないかという事だけです。

(委員)

宇土墓古墳は片側通行になるということですか。帰りは宇土墓で降りようと思ったら別所から回ってこないと降りることができないのですか。

(事務局)

そういうことです。宇土墓に両方停めることができないこともないです。ルートも合わせて検討させてください。

(会長)

他にご意見ございますか。

(委員)

通勤時間帯中の渋滞緩和の件で。渋滞するのはみさき公園駅前の本線の信号だと思うので、調節を岬町から泉南警察や大阪府警の方に言ってみてはどうですか。少しは緩和できるのではないかと思います。

(事務局)

みさき公園駅前の信号は三箇所あります。岬町も以前から要望を出しているのですが、信号の調整は一箇所だけではなく数キロ先までの調整が必要になってきますので難しいと聞いています。

(会長)

他にご意見いかがですか。見直し案に入っていない利用者数、認知度、関心を増やす、イベントの時間調整をその他に追記できますか？

(事務局)

追記は可能です。内容については会長と協議いたしたいと思います。表記について事務局に一任していただきたいので、委員さんにお諮りいただきたい。

(会長)

ご意見ございますか？内容は事務局と協議、調整しその他に追記します。皆さんにお諮り致します。見直しの案について一部修正しお認めいただき合意していただけますか。

(「異議なし」の声あり)

(会長)

乗継支線を有償にする意向、その他バス停留所の新設の申請手続きを続けるということでもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

(会長)

その他の項目についてはこの場でお認めいただいたという事で、順次事務局の方で進めていただきたいと思います。

次に、案件5 今後のスケジュールについて進めさせていただきます。

(事務局)

今後のスケジュールについて資料はございませんが、口頭で説明させていただきます。本日は、バス利用実態やアンケートの調査結果などによるバス事業の中間評価を踏まえ、実証運行内容の見直し案をご提案させていただきました。

資料6に記載した項目の中で、バス停の新設、乗継支線の有償運行への移行の方針につきましては、本日の交通会議においてご同意を得ましたので、現在登録しております市町村運営有償運送の登録事項の変更申請手続きが必要となります。特に、乗継支線の有償化並びに来年オープン予定の「道の駅・みさき」へのバス乗り入れに伴うバスルートの変更など詳細な運行内容について、庁内関係課などとの調整を必要とすることから、乗換支線運行の内容については、次回の交通会議において、その内容をご説明させていただく必要があるため、第3回交通会議を開催させていただきたいと考えており、開催時期は、1月の中旬から下旬を予定しております。日程調整にご協力をいただきたいと思います。

その他、運行内容についての改正事項についても、協議あるいは報告させていただくこともありますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(会長)

ご質問、意見ございませんでしょうか？

(「なし」の声あり)

(会長)

なしということですので、円滑な進行を事務局さんよろしくお願ひいたします。最後になりましたが、案件6 その他でございますが、バス事業、公共交通事業全般について質問、ご意見ございませんか。

(委員)

アンケート用紙はどのように回収されていますか？

(事務局)

自治区長さんに各戸配布をお願いしました。アンケート用紙に返信用の封筒を付けて郵送で返信をしていただくというかたちをとりました。

(委員)

淡輪地区は区長さんが配ってくださったら班長さんが回収に行きます。

(委員)

班長がいない地区もあります。

(委員)

私の地区は募金でも班長さんが回収にこられるので回収率が高いです。班長さんに

お願いして回収すれば回収率が上がるのではないですか。

(事務局)

アンケートを記入して出してもらうのは自主性ですので、班長さんに回収してもらうのは強制になりかねないのではないかと。自主性にお任せして返信用封筒を付けて回収させていただきました。

(委員)

聞いた話ですが、こんなものは返信しなくていい、利用しないので関係ないという意見がございました。きちんとしたかたちで役場は回収しようとしているので、班長さんに頼んで回収した方が良いのではないかと思います。

(事務局)

他の市町村ではバスが無くなる、どうしようと世帯の少ない所で地元の区長、班長が動いている所もあるようです。方法はあると理解していますが強制的になるのでご意見として聞かせていただきます。

(会長)

バスへの関心の向上と回収率の向上が今後の課題かと思えます。他いかがでしょうか。

(「なし」の声あり)

(会長)

それでは無いようですので、事務局から何かありますか。

(事務局)

資料7として、7月6日に開催いたしました第1回目の交通会議議事概要を配布させていただいております。内容をご確認いただき、追記、修正等がございましたら、11月17日の水曜日までに事務局までご一報いただきたいと思えます。追記等がなければ、ご一報は結構でございます。修正追記等ののち、ホームページに掲載させていただきたいと思えますので、よろしくお願ひします。

実証運行という形でスタートし、6か月が経過しました。アンケート調査でも多くのご意見をいただいております、まだまだ検討が必要な項目もございます。また、運輸局への手続きも必要な項目もあり、年明けに3回目の会議を開催させていただくなど、引き続き委員の皆様方のご審議をお願いしなければならないところでございます。今後も、どうぞよろしくお願ひいたします。事務局からは、以上です。

(会長)

第1回目の議事概要について、訂正等がありましたら事務局までお願ひします。また、第3回目の会議を開催予定ということで、日程の調整についてご協力よろしくお願ひします。

本日の案件は以上です。それでは、これで第2回岬町地域公共交通会議を終了します。皆様、長時間お疲れ様でした。ありがとうございました。

(15時40分 終了)